

プロジェクトリーダーは、術アグリテックの中田浩康さん(34歳)。元職員室でパソコンに向かって企画を計画

# 都市と農村の新たな交流拠点

●農村体験ツーリズム拠点開発プロジェクト事務局「米原舎」(ペーぱんや)



教室で開かれたクラフト講座。まっぼっくりを材料にクリスマスリースを製作



農家ででの田植えなど、農業体験も米原舎が紹介してくれる



ペーぱん地区に造成中のサイクリングロード。来春オープン予定



昭和63年に完成した校舎。校内は木がふんだんに使われ、温もりのある雰囲気



旭山動物園から21世紀の森に向かって、車で約10分。のどかな田園風景が広がるペーぱん地区に都市と農村の新たな交流拠点が昨年誕生しました。

新たな交流拠点は、廃校になった中学校。地域の人たちの思い出がいっぱいに詰まった旧旭川第一中学校です。3年前に閉校した校内は、木をふんだんに使った温かみのある雰囲気。

昭和63年に新校舎として完成し、まだまだ現役として充分に活用できる建物です。

新たに誕生した交流拠点は「米原舎(ペーぱんや)」。米原舎は、有限会社アグリテックが旭川市より「ふるさと雇用再生特別対策推進事業」の委託を受けて実施しています。

将来的には、校舎を長期滞在型の宿泊施設にして、この地域の自然や農業を体験しながら楽しんでもらおうと準備を進めています。近くの山で自然観察を行ったり、木工クラフト教室を開いたりしたほか、来春オープンを目指しているのは、サイクリングロード。1周約1時間のコースを造成中です。

そして今、この校舎を活用して何が出来るかも検討中。農業体験、自然観察、ものづくり体験など、各分野の伝統的な技を伝授してくれる匠を講師に迎え、地域のひととの交流も計画しています。都市と農村を結ぶ交流拠点として蘇った旧校舎に賑やかな声が響きわたる日は、もう間もなく訪れるのかも知れません。

電話/0166-76-3060 住所/旭川市東旭川町米原517 定休日/土曜、日曜、祝日

## 道草の旅

# ふんわり、やさしい手触り

●HAND WEAVER'S CLUB (ハンドウィーヴァーズクラブ)

電話/090-6445-6307(大嶋) 住所/旭川市東旭川町米原517米飯舎内 開講日/火曜、土曜(要予約)

旧旭川第一中学校を拠点に活動する米原舎。この旧校舎の教室で週2回、羊毛糸つむぎやわた織り、染ものの体験教室などが行われています。

講師は、美瑛町在住の大嶋喜美子さん。教室では、クラブの代表、福嶋真理さんも受講生に手ほどきをしています。大嶋さんと福嶋さんは、二人ともペーぱん織の生みの親、森定利枝さんのお弟子さんです。ペーぱん織は、羊毛を手紡ぎで草木染にした手織りの織物。昨年亡くなった森定さんがこだわった技法を守り、ペーぱん織研究会でも活動をしてきました。

その技術を生かして、現在教室では、参加者の好みの素材を使って、はた織り教室を開いたり、羊毛の糸つむぎをしたりするなど、多彩な体験メニューを楽しめます。子ども用のはた織り機もあり、小物やアクセサリなどは、子どもでも1時間ほどで作品を完成させられるほど。



講師の大嶋喜美子さんとクラブの代表、福嶋真理さん



週2回の講座は会員制。入会金不要

10月は、8日と22日に手作り体験講座を開きます。今回の講座は羊毛染めと羊毛つむぎ。時間は午前10時30分から午後3時30分。体験料は材料費込みで2000円です。近くにコンビニはないので、お弁当持参!秋のピクニック気分楽しんでみませんか。

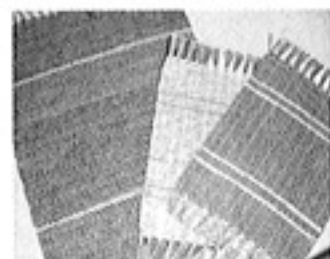
**あとかぎ**  
今年の農作物や果物は、まずまずの出来。地元の食材は、なんといっても新鮮でやっぱりおいしい。北海道の大地の恵みに感謝しながら、出来秋を楽しみましょう。



ふんわりバステルカラーのアクセサリは、羊毛をまるめて作り上げる



カラフルな糸を使って、思い思いの作品に仕上げる



はた織りで作ったコースター

